

健康保険組合 平成28年度決算のお知らせ

平成29年6月26日開催の第161回健康保険組合 組合会にて、平成28年度決算が承認されましたので概要をお知らせいたします。

当健康保険組合では、会社と協力して健康経営を推進することで、加入者の健康増進や重症化予防、軽運動の促進を図り、ジェネリック医薬品への切替や運営経費の効率化等に努めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 決算概要

a. 健康保険

医療費の慢性的な増加や、高齢者医療への拠出金負担の増加等から今後も厳しい財政状況の見通しとなっております。

収入合計は、前年比2.1%増加の約202億円となりました。

支出合計は、保険給付が約122億円（前年比▲0.0）、被保険者当たり保険給付費の減少（前年比▲0.6%）により、前年比▲0.2%の約186億円となりました。

その結果、総合収支は約15億円の黒字となりました。

（単位：百万円）

収入			支出			総合収支	
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額	予算額	決算額
健康保険料	19,339	19,602	保険給付	12,849	12,165		
その他収入	466	571	高齢者医療への拠出金	5,306	5,313		
			その他支出	1,211	1,163		
収入合計	19,805	20,173	支出合計	19,366	18,641	439	1,532

b. 介護保険

総合収支は、約8,800万円の黒字となりました。

（単位：百万円）

収入			支出			総合収支	
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額	予算額	決算額
介護保険料	2,001	2,023	介護納付金	2,034	1,985		
繰越金	57	50					
収入合計	2,059	2,073	支出合計	2,034	1,985	25	88

2. 健康保険組合をめぐる環境

- a. 高齢者医療への拠出金負担過重等で、全健康保険組合（約 1,400 組合）の平均保険料率は年々上昇しており、10 年連続の上昇となっております。

【平均保険料率の推移】

平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
8.3%	8.6%	8.88%	9.03%	9.10%	9.16%

- b. すでに 316 組合（占率約 23%）が「協会けんぽ（注）」の平均健康保険料率 10%を超えており、中には 11%以上という高い料率の組合もあります。

（注）健康保険組合を持たない中小企業の従業員が加入する健康保険。会社、本人負担各 5.0%

- c. 後期高齢者（75 歳以上）および前期高齢者（65～74 歳）の医療費に対する支援金増額が段階的に行われており、後期高齢者支援金については平成 29 年度より全面総報酬割となります。前期高齢者に関しては、団塊の世代の高齢化による医療費の増加が見込まれている状況です。

- d. 介護納付金についても平成 29 年度より 3 年間かけて段階的に総報酬割を進めていき、平成 32 年度には全面総報酬割となるため、納付金が増加する見込みとなっております。

3. 医療費軽減への取り組み

当健康保険組合では、健康保険料率上昇幅の抑制に向けて、今後も加入者と健康保険組合の負担軽減に取り組んでまいります。

H29 年度より会社が運営しております『健康経営』を健康保険組合としても強力に推進し、より一層加入者および、そのご家族の健康維持・促進への取り組みを強化していきたいと考えております。何卒ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

以上